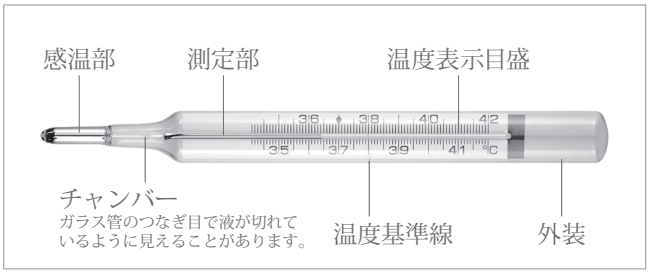
＊2021 年 8 月（第 2 版）
2021 年 1 月（第 1 版）
医療機器届出番号：11B3X10053IX101L
機械器具 16 体温計
一般医療機器 液体金属毛細管体温計（71091001）

水銀フリー体温計　IX-101L

【禁忌・禁止】
- 検温結果の自己診断、治療は危険ですので医師の指導に従ってください。（自己診断は、病気が悪化する原因になります。）
- 人の検温以外に使用しないでください。
- 本製品はわきの下専用の体温計です。
  わきの下以外（耳や口中など）で検温しないでください。
- 乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- お子様だけでのご使用はさけてください。

【形状・構造及び原理等】

＊1. 主要部の形状と名称



2. 構成
付属品

収納ケース	1 個
取扱説明書（医療機器添付文書・品質保証書付）	1 部

3. 本体寸法及び重量
外形寸法：幅12×長さ128×厚さ9㎜
本体重量：約8g

＊4. 作動・動作原理
本製品は、上部と下部が密閉されたガラス製の細い中空管にガリンスタン液が充填された構造で、毛細管原理に基づいて機能し、熱によって目盛付きカラムに充填された媒体が比例的に膨張する。

＊5. 性能及び安全性に関する規格等
⑴ 測温範囲：35.5℃～42.0℃
⑵ 保証された精度：＋0.1/－0.15℃
⑶ 環境にやさしいガリンスタン測定液を採用している
⑷ 簡単な洗浄と硝子体の安全な消毒により100％衛生を保つことが可能
⑸ 完全防水仕様
⑹ 収納ケース付き

【使用目的又は効果】
感温部を部位に接触させて、腋窩の体温を測り、一定時間後に最高温度を表示すること。

＊【使用方法等】
⑴ ガリンスタン液柱が36℃未満に下がっていることを確認する。下がっていない場合には体温計を振って液柱を下げる。
⑵ 体温計の感温部をわきの下で挟み4分以上そのままに保つ。感温部がわきの下の中央部にくるようにしっかりと挟む。
- 温度上昇には個人差がありますので、より正しく体温を測るには、約10分温度変化がなくなるまで計り続けてください。あらかじめ、わきを閉じて温めておくと上昇が速いです。

⑶ 所定時間経過後、液柱の最上部を目盛りで確認し、測定温度を読み取る。
⑷ 使用後は液柱を36℃未満に下げておく。

【使用上の注意】
⑴ 周囲温度が－15℃～42℃の範囲で使用してください。
⑵ 検温中、感温部をわきの下に密着させるように固定し、空隙はつくらないようにしてしてください。また、大幅に動かさないでください。
⑶ 運動や入浴後は、30分以上あけてから検温してください。
⑷ 起床直後の行動開始時期は、比較的激しく体温が上昇しますので、30分以上あけてから検温してください。
⑸ わきの下が汗ばんでいるときは、わきの下を乾いた布で数回拭いてから検温してください。
⑹ 本体や収納ケースに強い衝撃を与えたり、落としたり、踏んだりしないでください。

【保管方法及び有効期間等】
1. 保管方法
⑴ 次のようなところに保管しないでください。
- 水のかかるところ。
- 高温多湿のところ、直射日光があたるところ、暖房器具のそば、ほこりが多いところ、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
- 振動、重圧、衝撃（運搬時を含む）のあるところ。
- 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ。

⑵ 保管環境条件：－15℃～42℃

2. 耐用期間
標準的な使用期間：無期限（ガラスの破損が無い場合）

【保守・点検に係る事項】
⑴ 故障した場合は勝手に修理せず、分解せず、製品サポート窓口にご連絡ください。
⑵ 勝手に改造しないでください。
⑶ 本製品に水や化学薬品をかけないでください。
⑷ 本体の汚れは、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。
⑸ 汚れがひどいときは、水または中性洗剤をしみ込ませた布をかたく絞って拭き取った後、やわらかい布で拭き取ってください。
⑹ 消毒する場合は、消毒用アルコール綿で2～3回拭き取ってください。

＊【製造販売元及び製造業者等の氏名又は名称等】
製造販売元：オンスクエア株式会社
電話番号：048-242-3220（製品サポート窓口）
E-mail：support2@onsquare.jp
製造元：ゲーラテルム・メディカル株式会社
Geratherm Medical AG（ドイツ）

取扱説明書を必ずご参照ください。